

6月4日：VN指数は上昇を維持 (VN-Index +0.28%)

- VN指数は高値で取引を開始し、昨日からの勢いを加速させた。
- 小幅に調整したのち、情報技術と鉄鋼セクターが市場のけん引役となり、他のセクターを先導した。
- ただ、1,280~1,285ptの抵抗帯は指数の上値を重たくした。
- 上抜けが2度試みられたのち、指数は失速。上昇幅は縮小したもののプラスは保たれた。
- 銀行、不動産、金融セクター株の減速が、その主な要因であった。
- 市場は売り優勢で、202銘柄が上昇、224銘柄が下落、74銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は取引序盤に好調だったものの、最終的には前日比8.9%減の23.7兆ドンとなった。

VN30指数も同様の値動き (VN-30 +0.25%)

- 大型株で構成されるVN30指数は、16銘柄が上昇し、11銘柄が下落、3銘柄が横ばいとなった。
- POW (+4.09%) と SAB (+3.37%) の上昇が最も目立ち、FPT (+1.61%)、BVH (+1.10%)、HPG (+1.03%) なども後に続いた。
- ACB (-1.21%) と BCM (-1.11%) は大きく下落した。

セクター・個別株の動き

- CKG(+6.83%)は日本や韓国を中心とした外資を呼び込むため、外国人投資枠を現在の0%から49%に開放することを計画。これを受け、2営業日連続でストップ高を記録した。
- DGC(-1.12%)はVinachemの売却に関し、違法ではないかとの噂があり投資家心理を悪化させた。

- 外国人投資家の売り越しは 1360 億ドンで、今日も売り越しとなった。MWG (-0.31%)が最も売り越された銘柄となった。一方、FPT (+1.61%)と HSG (+3.58%)は大きく買い越された。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。